

定期(中間・期末)テストは 終わってからも大事!!

中間テストが終わりました。みんなは、「デキ」はどうだったかな。おいおいテストが返却されて、自分の点数がわかり、学年平均点なども公表されると思いつけど、点数だけを見て、終わりにしてはいけません。そろそろ成績をとれば嬉しいし、点数が悪ければ口惜しいでしょう。けれど、定期テストの目的は、自分の習熟度を知るためのものだから、ということも忘れないでほしい。

習熟度とは何か。要するに授業で習ったことを自分がどのくらい理解し、覚えていくか、ということ。例えば数学ならば、左上の表を見てほしい。合計100点満点だけれど、その内容は、うちの練習帳に分解されている。ニ宮くんの場合だと知識・理解(数学の基本的な用語の意味を理解し、使いこなせているか)の分野では $84 \times 100 = 84$ ということで80%以上はイケてる。

ということになります。技能(計算の力がついているか)という分野では、 $84 \times 100 = 84$ ということで94%のどかばり力がついているということ。ところが、考え方(応用力)の分野では $84 \times 100 = 84$ ので50%しかできなかった。つまり、ニ宮くんの場合は基本的にできていくが、応用力についてはまだ力不足、ということ。つまり、これから応用力をつけていくことが課題になる。

表1

知識・理解	技能	考え方	合計
1. 2. 3. 4. 5	6. 7	8. 9. 10	
$\frac{20}{24}$	$\frac{45}{48}$	$\frac{14}{28}$	$\frac{79}{100}$

1年(2)組(32)番 名前(二宮 和也)

る、ということですね。

みんなも、テストが返されたらニ宮くんがや、たよって計算をしてみよう。自分のどこが悪くてどこが悪かったか、まのこま知るところです。そしてそのことを、これから学習に活かそう。

テストでできなかった所を復習する。間違えたところをやり直して、あ、このところは当り前のことですが、そのときにも自分自身よく知っていたのか、入力がどうだったかわかります。

ほめ、教員が苦手で、どの分野も残念な結果に終わってしまった人、まず「技能」の分野に力を入れた方がいい。計算力さえしっかりつけておけば、道は必ず開けます。



55 期生の仲間たち

東三国中学校 1年生学年通信 vol.11 2015年5月19日(火)